

あわくら 歴史街道

小原城に進攻した 山名勢の敗退 (前号続編)

山名備前守、山名蔵人太夫らの軍勢が、機を見て小原城攻略を企て攻めかかったが、小原城兵の団結した防戦と、播州よりの援軍によって山名軍は形勢不利となり、知社の出城(清水の構)に後退する所を小原勢は追い討ちをかけ、山名方の徳丸石見守と本位田為利が組打ちして本位田が徳丸の首を討ち取り、高々と差し上げ名乗りを挙げております。その翌日、宇野、豊福、本位田の軍勢は山名の出城に押し掛け攻め入って、互いに熾烈な戦いを繰り広げましたが、山名の軍勢は度々の戦いに兵士の疲れもさることながら、大半は戦死していました。その夜、小原城の軍勢は山名の陣所に火をかけたものだから、城中は大混乱となり方途を失って右往左往する中に、豊福、本位田の軍勢はこの時とばかりに斬って入り、竹田、小林、福光、池田の名士ら山名備前守と戦いを挑んでいる所に、白岩采女正が山名備前守を討ち取ったため、山名蔵人の軍勢も大敗し、士気を失い残党を引き連れて因州智頭の淀山城目指して引き返していき、戦いは終結しております。

この合戦で、新免方の笠原新介、丸山彦十郎、服部長三郎、白岩采女正、河野三郎左衛門、平尾与四郎、上月帯刀、豊福和泉守らが討ち死にいたしております。山名備前守は討ち死にされたため、この墳墓が知社村にあると古書に記されていますが、さて墳墓が何処にあるのか村内の史記では不明ですし、他に無縁の古墓も多いと云われていますので、或いはこの頃の合戦における死者の墳墓ではないかとも想像されます。文化12(1815)年、正木輝雄編纂の東作誌によれば、清水の構えは本丸(180坪)、二の丸(36坪)、三の丸(36坪)からなり、山城としては広大なもので、「城跡には皿、茶碗等の残片多し」と記されています。

昭和30年代、由本巡査が駐在しておられた頃の事、「この軒瓦は知社の城跡から拾ったもので」と端瓦の丸い所だけ切断して文鎮代わりに使っていたことがありました。屋根は本瓦を使用していたものと推測されますが、一部が全部かについては定かではありません。

「戦国の世の運命なる兵者共が夢のあと
城趾の木々に吹く風も 平和平和とそよぐなり」
本文文献 新免家古書

善意の窓 (村社会福祉協議会から) 平成22年2月20日~平成22年3月19日

おめでとうございます

猪之部 小林 繁治 様 長男 裕士 様 結婚内祝

お大事にしてください

谷 口 政久 民江 様 本人 退院内祝
大 茅 萩原 繁美 様 本人 退院内祝
塩 谷 矢代きみ子 様 本人 退院内祝

人の動き

平成22年3月1日現在

- 人口 1,616人(-2) ●2月中の移動
- 男 749人(-1) 出生 0人 死亡 3人
- 女 867人(-1) 転入 2人 転出 1人
- 世帯数 552戸

お誕生おめでとう

- 白旗 慎悠^{しゆん} ちゃん 2月22日生まれ(別府)
お父さん 善宏 さん
お母さん ちえみさん
- 野田 紗希^{さき} ちゃん 3月10日生まれ(塩谷)
お父さん 秀樹 さん
お母さん 奈美 さん
- 関 伽奈美^{かのみ} ちゃん 3月10日生まれ(影石)
お父さん 隼一郎さん
お母さん 真沙美さん

幸せ多い人生を

- (橋本 春樹 さん(美作市)
(清水) 加奈 さん(塩谷)
(安妻 美和 さん(坂根)
(豊久) 真由美さん(勝央町)

自動車税の納期限は
平成22年
5/31
です

西粟倉村
軽自動車税の納付は
4/30まで

納税証明書は車検の際に必要ですので、
大切に保管してください。

岡山県 西粟倉村